《月刊》地球市民 2025年10月号 No.094





発行:一般社団法人 Earth Citizens Organization 〒517-0501三重県志摩市阿児町鵜方3189-1



ている地球市民・新川祥子 に元気を届ける活動を続け さんをご紹介します。 仕事をしながら、子どもたち 奈良県で子どもと関わる

も、どう伝えればよいのか分 夏は、〃一人では何もでき ようになったそうです。「この クした気持ちで活動に臨める いただく中で、今ではワクワ 手でしたが、少しずつ機会を 川さん。人前に立つことも苦 からずに悩んでいたという新 い」という思いを持ちながら 「子どもたちを元気にした

りがとう」と声に出しなが れる瞬間に立ち会えること 穏やかなエネルギーに包ま のように、その空間全体が 子どもたちの姿に胸を打たれ ら、静かに自分とつながる が幸せです」と語ります。 ました。「時間が止まったか 分にありがとう」「家族にあ また、瞑想の時間では「自

もたちは地球を感じながら 話、地球気功を通して、子ど 緒に動きます。同じ空間 さらに、絵本や地球のお

上げることの大きさを実感 ない。ではなく、みんなで作り しました」と振り返ります。

も、「できるできる!」と笑顔 が返ってくるのだそうです。 か体が自然に動き出し、笑顔 で声をかけると、いつの間に 感動。最初は戸惑っていた子 体を動かす子どもたちの姿に 操やダンスで元気いっぱいに 活動の中では、ブレイン体

が伝わってきました。

場を支える新川さんをはじ 照らす光になる一 瞳の輝きが、未来の地球を 伝わってきました。小さな 心から応援しています。 ちの今後の活躍に期待 仲間と共に歩む力強さが どもたちを思う熱い心と、 新川さんの言葉からは、子 ことが本当に幸せです\_ ら、仲間と共に活動できる キラと輝く瞬間を描きなが 、仲間の地球市民さんた 子どもたちの瞳がキラ ーそん

新川 祥子さん



できるできる!」の

戸が広がる学童クラブ

与えてくれたそうです。 でひとつになれる体験は、 まる」と新川さんに確信 「ここから共生の社会が始

できてうれしかった」と たちの中に育っていること いった声が寄せられ、地球を ケートには、「協力できて楽 大切に思う気持ちが子ども かった」「お友達と一緒に ワークショップ後のアン



50人の目標を達成したそう りながらクリーンアップの もぜひ、応援お願いします。 活動していきます。みなさま 向けてさらにパワー全開で です。多くの方からの応援が 活動を続けて、ついに9月に 街に出て町の人に参加を募 生たち。毎月、大学の同級生や 立ち上げ、活動している卒業 力となり、これから100人に 地球を明るくし隊同好会 100人に広げよう~」を

《 月刊 》地球市民 2025年10月号 No.094





